

**2022年度 開講スケジュール** \*新型コロナウイルス感染症の感染状況により、オンライン授業への切り替えや内容を変更する場合があります。  
\*天候事情等により日程変更となる場合があります。

日程	開講時間 / 講座名	詳細
5/14 [土] 9:00-16:00	開講式&オリエンテーション	プログラム開講にあたって、オンライン学習の進め方、リーダーシップ開発に関する近年の事例研究等を学びます。イノベーション実践のための各自の現状把握と課題設定を行います。

**モジュール① リーダーシップを発揮する — コミュニケーションデザイン実践 —**

対話型コミュニケーション基礎 担当講師：吉次 潤氏・岸 智子氏

5/21 [土] 9:00-16:00	対話型コミュニケーションの基礎を学ぶ	対話とは何か?「コミュニケーションの場づくり」とはどういうことか?を演習を通じて学びます。授業を通してクラスメイトとのチームビルディングを体験します。
5/28 [土] 9:00-16:00	対話型コミュニケーションをデザインする	ミーティングやセミナーなど、コミュニケーションの場を企画、運営する際に必要な項目や注意すべきポイントについて演習等を通じて学びます。

ファシリテーションスキル実践 担当講師：平山 猛氏・岸 智子氏

6/11 [土] 9:00-16:00	ファシリテーションの基礎を学ぶ	会議の中で参加者の発言を促し、議論を描いて整理するファシリテーションの基礎的な技術を演習等を通じて身につけます。
6/18 [土] 9:00-16:00	ファシリテーションを実践から学ぶ	実際に模擬会議を組み立て、合意形成に導くためのファシリテーターとしての関わり方を演習等を通じて学びます。
7/2 [土] 9:00-16:00	ファシリテーター型リーダーへの道	チームを形成し、成果をあげるためのポイントを理解し、ファシリテーションを活かしたチームへの関わり方を演習等を通じて学びます。

この他、e-learning システムを利用して、個人・グループでのオンライン学習や実践等を行います。

**モジュール② 創造性を磨く — デザイン思考実践 —** 担当講師：岸 智子氏・櫻木 理江氏

7/16 [土] 9:00-16:00	デザイン思考とマーケティングの基礎を学ぶ	イノベーションのための方法論の一つであるデザイン思考とは何か?をミニワークショップを体験しながら学びます。マーケティング戦略と合わせて学ぶことでより効果的なアイデア創出に繋がります。
7/23 [土] 9:00-16:00	デザインリサーチの基礎を学ぶ	リサーチの進め方、課題の設定の仕方について、講義とグループワークで学びます。インタビュー演習等を通じ、実践的なスキルを身につけます。
8/27 [土] 9:00-16:00	新たな課題の創出・設定、アイデア創出のプロセスを学ぶ	リサーチ結果を共有し、分析します。新しい視点での発見や気づきをもとにアイデア創出を行います。
9/10 [土] 9:00-16:00	アイデアの持続的実現モデルの策定とプレゼンテーション	アイデアを共有し、持続的に実現可能な環境や仕組みを検討します。作り上げたアイデアを詳細化し、プレゼンテーションを行います。

この他、e-learning システムを利用して、個人・グループでのオンライン学習、インタビュー実習や調査を行います。

**モジュール③ イノベーションを実践する** 担当講師：間間 理氏・岸 智子氏

9/24 [土] 9:00-16:00	課題解決に向けた情報収集と事前準備	モジュール1、2の振り返りと最終成果発表に向けての準備を行います。個人個人のテーマに基づき、チームを編成し、テーマ設定を行います。
10/15 [土] 9:00-16:00	課題解決に向けたテーマ設定、リサーチ計画の策定	今後の課題解決プランを策定するためのテーマ設定、リサーチ計画を立て、実践に向けての準備をします。
11/19 [土] 9:00-16:00	問題構造の可視化	リサーチ結果等の進捗の共有を行うとともに、取り組む問題を構造化、可視化し、実現可能なアイデアへと練り上げます。
12/17 [土] 9:00-16:00	ビジネスモデルの枠作り	進捗の共有を行うとともに、事業プラン策定に関する基本的な知識を学びます。成果発表に向けてのプレゼンテーションの準備を行います。
2023年 2/18 [土] 13:00-16:00	課題解決プランのプレゼンテーション (成果発表会)	練り上げたアイデアを詳細化し、実際にプレゼンテーションを行います。発表会には企業の担当者にもご出席いただく予定です。

この他、個人・グループでの課題解決に向けた実践を行います。必要に応じて、補講や個別相談会を設けることがあります。

**VOICE** 学びを通じて、新たな価値の創出やコミュニケーションの輪が広がっています。

**修了生** 学びが一生の財産に

1年間、細やかにご指導いただき本当にありがとうございました。「とりあえずやってみる」をモットーに無我夢中で学びました。安心・安全な場でのびのびと語り合ったことは一生の財産です。長い人生(100年!)つまりくことがあろうとも、先生方や仲間が共にあることを思い出し、乗り越えていけそうな気がします。これからも1期~3期生のみならず、それ以降の仲間とも「私たち女子大つながりよ♡」という言葉で誰もが納得するような相互支援の輪を大切に、「女子大つながり♡」を発展させる一人になればと考えます。これからもよろしくお願いたします。(3期修了生)

受講生派遣企業  
担当者の声

本人からも「これまで閉じた世界にいたと気付かされた」という言葉がありましたが、私自身も成果発表会を見せていただき、本人が知識や人脈など様々なことを得たことを実感しました。広い視野を持つことを学び、成長させてもらえたと感じています。

**修了生** 知識と自信 勇気と意欲を編み上げる

どれ、ちょっと知識を身につけておこうかと思いついた本プログラムで価値観ががらっと変わる事になるうとは思ってみませんでした。訳もわからず講義、対話、とりあえずやってみる、振り返り、を繰り返すうちに新しい学びと経験の糸がほくされて自分にフィットするニットに仕上がっていました。知識だけでなく自信と飛び出す勇気と変身し続けたい意欲も編み込まれたこのニットを着てスタートするのはこれからです!! (3期修了生)

文部科学省職業実践力  
育成プログラム(BP)認定講座



職業実践力育成プログラムとは、プログラムの受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた、実践的・専門的なプログラムを「職業実践力育成プログラム」(BP)として文部科学大臣が認定するものです。

個人向け 専門実践教育訓練給付制度  
厚生労働大臣指定講座

福岡女子大学「イノベーション創出力を持った女性リーダー育成プログラム」は、2016年10月より、専門実践教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座として登録されました。当講座を修了された方のうち、一定の条件を満たす方は、受講料の一定の割合額(最大7割)が「専門実践教育訓練給付金」としてハローワークより支給されます。  
\*詳細は最寄りのハローワークにご確認ください。

企業向け 助成金制度について

事業主等が雇用する労働者に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるため、専門実践教育訓練を受講させる、または受講を支援する場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。(最大で、経費助成45%、賃金助成1人1時間あたり760円の助成が受けられます)  
\*支給に際しては要件があります。都道府県労働局にご確認ください。

公立大学法人 福岡女子大学

100周年記念事業推進室 女性学び直し事業担当 (地域連携センター内)

〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1-1-1

TEL 092-661-2411 (代表) / 092-692-3198 (直通)

FAX 092-692-3220 (24時間受付)

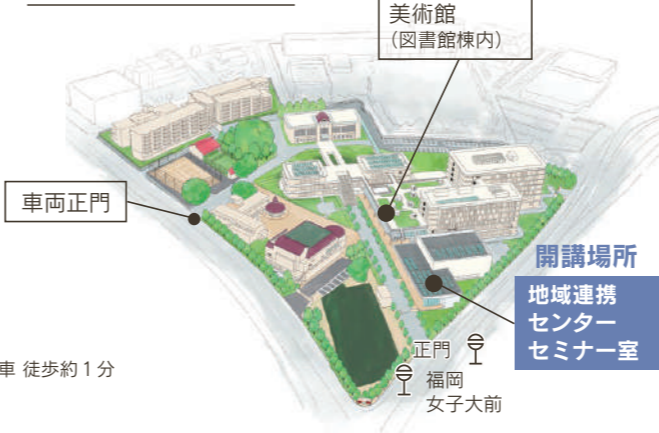
MAIL...manabi-info@fwu.ac.jp

URL...http://www.fwu.ac.jp/manabi/

[アクセス]

- ◆バス...西鉄バス「天神中央郵便局前」から21A又は26Aで約15分「福岡女子大前」下車 徒歩約1分
- ◆電車...西鉄香椎駅から徒歩約12分、西鉄香椎花園前駅から徒歩約10分
- ◆J R...JR 香椎駅から徒歩約15分
- ◆車...車両正門にある守衛室で所定の手続きをお願いいたします。駐車場に停車できる車の数には限りがございます。なるべく公共交通機関でお越しください。

福岡女子大学 学内マップ



社会人学び直しプログラム  
イノベーション創出力を持った  
女性リーダー  
育成プログラム

Fukuoka Women's University Innovators Program

2022年度 講座案内

2022年5月~2023年2月 開講



公立大学法人  
福岡女子大学  
FUKUOKA WOMEN'S UNIVERSITY



社会人学び直しプログラム  
文部科学省職業実践力  
育成プログラム(BP)認定講座  
教育訓練給付金指定講座



# チームで学ぶ、チームを学ぶ。



## 問題を発見し解決に結びつける力と、協力して作り上げる力をつける

### 120時間

リーダーに必要な力とは何でしょうか？意思決定のスピード、カリスマ性、統率力などリーダーに求められる要件は様々あります。リーダーというと、チームをぐいぐいと引っ張っていく統率型のリーダーを一般的にはイメージしがちですが、果たしてそれだけでいいのでしょうか？チームの中心はメンバーです。そのメンバーを主体とし、メンバーの個性を引き出し、チームとしての成果を最大化することこそが、リーダーの役割であり、力でもあります。『イノベーション創出力を持った女性リーダー育成プログラム』では、様々な演習や実習にチーム単位で取り組むことによって、チームビルディングやリーダーシップの発揮方法を学んでいきます。チームで学ぶ、チームを学ぶ…“自然体・等身大”のリーダーを目指す女性のためのプログラムです。



**プログラムの特色** 女性が学びやすい環境を整え、仕事や家庭・育児との両立をサポートします。

### 多様な人との学び

演習や実習が中心の対面授業では、チーム単位でのグループワークを通じ、他者の意見を取り入れ、他者からのフィードバックを受けながら相互に学習を深めていきます。様々な背景、経歴を持つ多様なクラスメイトとの学びに加え、修了生との特別授業の実施など、働く大人の学びを多方面からサポートします。



### 仕事や家事・育児との両立をサポート

土曜(一部日曜)開催の対面授業と、レポート作成や相互フィードバック、アイデア共有などオンライン上での学習やインタビュー実習などの実践を組み合わせた講座です。3つのモジュールの中から1モジュールずつ複数年(最大3年間)に渡っての履修も可能。受講者それぞれの環境に応じて受講ができます。



### 子育て中の女性をサポートする環境

大学構内に託児施設を完備。乳幼児保育と小学生対象の学童保育を実施し、子育て中の女性も学びやすい環境となるよう支援しています。(利用料の一部をご負担いただきます) 願書内に記入欄がありますので、ご希望の方は出願時にご記入ください。



## プログラム概要

### モジュール① リーダーシップを発揮する — コミュニケーションデザイン実践 —

【対面授業】5日間(計30時間) 【オンライン学習】10時間

#### コミュニケーションを通じ 関係者を巻き込み推進していく力を養う



今、多様な価値観や異なる背景を持つ人々との協働が必要になっています。多様性を認めるとはどのようなことでしょうか？まずは、違いがあることを認識し受け止める。そのためには対話が欠かせません。チームメンバーの創造性を最大限に発揮するためには「場」と「プロセス」のデザインが鍵になります。演習を通じ、対話型コミュニケーションやファシリテーションのスキルを学び、クラスメイトとのチームビルディングを体感しながら、自分なりのチームへの関わり方を見つけていきます。

#### ユニット1 対話型コミュニケーション基礎 担当講師：吉次 潤氏・岸 智子氏

本プログラムはワークショップ型の学びで授業が進行します。ワークショップの特徴でもある「参加=積極的に参加する」「体験=まずはやってみて振り返る」「相互作用=他者から学ぶ」を存分に行い、多様な価値観に触れながら、自分とは異なる考えを持つ他者と協働していきます。授業では、対話や演習を繰り返し、「対話とは何か?」「コミュニケーションの場を作る際のポイントとは何か?」を学び、座学や講義だけでは得ることができない体験や新しい発想を身につけます。

#### ユニット2 ファシリテーションスキル実践 担当講師：平山猛氏・岸 智子氏



多様な人の中から、様々な意見を取り入れ、新しいもの、よりよいものを作り上げていくことが職場や地域など、あらゆる場面で求められています。参加者やチームメンバーの意見を引出し、まとめていくファシリテーションのスキルはこれからの社会で必要なスキルのひとつです。授業では、人が集まる場をデザインし、参加者同士の対話を促し、合意形成に導くためのファシリテーションのスキルをグループ演習を中心に学びます。

リーダーシップはリーダーだけが担うものではありません。チームメンバー一人ひとりが自律し、チームへの貢献を各々が意識し互いに支え合う、そんなチームを作り上げるためにもコミュニケーションの場づくりや、ファシリテーションのスキルは欠かせません。ファシリテーションを活かしながらどうチームに貢献していくか?新しいリーダーのカタチを考えていきます。

### モジュール② 創造性を磨く — デザイン思考実践 — 担当講師：岸 智子氏・櫻木 理江氏

【対面授業】4日間(計24時間) 【オンライン学習・実習】16時間

#### 問題を発見し 解決に結びつける力を養う

絶対的な1つの解が存在しない問題を解決するためには、既存の枠組みにとらわれないアプローチが必要です。イノベーション創出のための方法論のひとつでもあるデザイン思考と顧客起点のマーケティング理論を、講義や演習、フィールドリサーチを通じて学びます。



### モジュール③ イノベーションを実践する 担当講師：間間 理氏・岸 智子氏

【対面授業】5日間(計27時間) 【オンライン学習・実践】13時間

#### 講座で得た知識・スキルをもとに課題を設定し 解決策を実践する

モジュール1、モジュール2で得た知識やスキルをもとに、自らが直面している問題や課題を解決するためのアイデアを練り上げます。問題の本質は何か?本当にその課題でよいのか?常に問題に向き合い、問い直すことから、真の解決策が生まれます。対面授業では、課題解決のためのフレームワークを学び、共通のテーマで編成されたチーム単位でリサーチ、アイデア出しなど協働しながら取り組みます。



- 対象**
- 企業や団体、行政などでリーダーとして働く女性およびキャリアアップにむけて一歩踏み出すことをお考えの女性(管理職に限らず、プロジェクトや新規事業開発のリーダー、多様な人々を巻き込む役割の方など)
  - 起業を目指す女性
  - 職場復帰や再就職を目指す際に高度なスキルを身につけたい女性
  - ファシリテーション、デザイン思考、チームビルディングに関心のある女性など

**資格** 女性限定 学歴年齢不問 **定員** 20名

**受講料** ●1モジュールあたり…60,000円(税込) ●通期受講(モジュール1~3まで)…180,000円(税込)  
\*専門実践教育訓練給付制度を利用される方は、通期で受講いただくことが必須です。

**開講場所** 福岡女子大学(福岡市東区香住ヶ丘1-1-1)地域連携センターセミナー室など

**アクセス** 西鉄バス「天神中央郵便局前」から21A又は26Aで約15分「福岡女子大前」下車 徒歩約1分  
西鉄香椎駅から徒歩約12分、西鉄香椎花園駅から徒歩約10分 JR香椎駅から徒歩約15分

#### 応募書類

##### ① 願書

福岡女子大学『イノベーション創出力を持った女性リーダー育成プログラム』願書の書式を下記サイトよりダウンロードの上、作成してください。手書きではなくパソコンにて作成したものをご提出ください。

\*願書記入に関する注意事項…モジュール3の受講にあたっては、モジュール1・2の受講・修了が前提になります。

願書のダウンロード	『福岡女子大学イノベーション創出力を持った女性リーダー育成プログラム』ホームページ <a href="http://www.fwu.ac.jp/manabi/youkou/">http://www.fwu.ac.jp/manabi/youkou/</a>	
-----------	--	--

- 顔写真…(脱帽上半身、背景なし、最近3ヶ月以内撮影)の画像データを願書の所定欄に貼付してください。
- 志望動機・学習目的…プログラム受講の志望動機や、学習目的、本講座に期待すること等をご記入ください。

##### ② 申込確認書 企業、所属団体からの派遣による受講の場合のみ提出ください。

**申込方法** 次の申込先に上記①②の応募書類を電子メールに添付の上ご送付ください。必ず下記の件名のご記入をお願いします。

願書の送付先	福岡女子大学 100周年記念事業推進室 女性学び直し担当 <a href="mailto:manabi-info@fwu.ac.jp">manabi-info@fwu.ac.jp</a> 件名「女性リーダー育成プログラム願書」
--------	--

願書を受付後、面接時間・場所の詳細をメールでご連絡いたします。

#### 選考について

書類選考及び面接を行います。

\*面接日程に関するご相談は個別に承りますので、上記メールアドレスまでご連絡ください。

	応募書類受付期間	面接日	合格発表
1期(定員:20名)	2022年1月15日(土)~2月18日(金)	2月26日(土)	2月28日(月)
2期(定員:若干名)	2022年2月28日(月)~3月21日(月)	3月26日(土)	3月28日(月)

選考結果はメールにて通知いたします。

合格発表から3日を過ぎても選考結果の連絡がない場合は、上記メールアドレスまでご連絡ください。

#### 受講手続き

合格者へは合格通知とともに受講手続き類・振込用紙を郵送します。受講手続きは所定の期間内に完了してください。

	応募書類受付期間	受講手続き期限
1期(定員:20名)	2022年1月15日(土)~2月18日(金)	3月18日(金)
2期(定員:若干名)	2022年2月28日(月)~3月21日(月)	4月15日(金)

一度振り込まれた受講料は返金いたしかねます。また、振込手数料はご負担ください。

#### 修了要件

モジュール1、2、3すべてを受講する場合、対面授業、オンライン学習への参加が7割以上かつ、成果発表会での発表が修了要件となります。履修証明書の交付は修了要件に準じます。尚、各モジュール単独での受講の場合、対面授業、オンライン学習への参加が7割以上を満たした方には大学独自の修了証を発行します。